

# 2021年12月期 決算補足説明資料

2022年2月14日

Jトラスト株式会社

## 本資料のお取扱いに関して

- 本資料は、当社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料は、正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の予測や情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料に記載された意見や予測等の情報は、本資料作成時点の当社の判断によるものであり、潜在的リスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績及び記載されている将来見通しとは乖離が生じることがありますのでご承知おきください。

【 本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先 】

Jトラスト株式会社 広報・IR部

TEL (03) 4330-9100

URL:<https://www.jt-corp.co.jp/>

1. 主要な経営指標の推移
2. 2021年12月期 連結決算概要
  - 1) 連結業績（累計）の前期比較
  - 2) セグメント別営業収益及び営業利益（連結・累計）の前期比較
3. 2022年12月期 連結業績予想

「データ集」につきましては、弊社ウェブサイトに記載しております。

併せてご覧いただきますようお願い申し上げます。

(IR情報\_IR資料室\_決算資料\_財務データ)

[https://www.jt-corp.co.jp/ir/library/ir\\_data\\_00/](https://www.jt-corp.co.jp/ir/library/ir_data_00/)

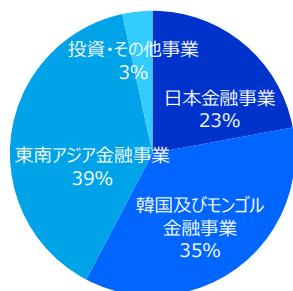
# 1. 主要な経営指標の推移

(単位：百万円)

	2021年12月31日 現在
時価総額(百万円)	65,702
発行済み株式数 (株)	115,469,910
株価(円)	569

	2019年3月期 ※1	2019年12月期 ※2※4	2020年12月期 ※3	2021年12月期 (1-12月)
営業収益	74,935	24,728	39,387	42,325
営業費用	78,253	16,054	20,787	23,017
営業総利益	-3,318	8,673	18,599	19,308
販売費及び一般管理費	28,488	18,926	20,898	21,560
その他の収益	366	5,215	619	8,731
その他の費用	1,159	93	723	1,218
営業利益	-32,600	-5,130	-2,403	5,260
金融収益	1,612	76	2,052	3,020
金融費用	110	472	268	2,728
持分法による投資損益	-36	-	-	347
税引前利益	-31,135	-5,526	-619	5,899
親会社の所有者に帰属する 当期利益	-36,107	-3,260	-5,342	1,123
営業収益営業利益率	-43.50%	-20.75%	-6.10%	12.43%
ROA(総資産利益率)※5	-5.45%	-0.62%	-0.85%	0.20%
ROE(自己資本利益率)※6	-29.06%	-4.26%	-5.58%	1.20%

## 営業収益構成 2021年12月期(累計)



- ※1 税引前利益までの数値について、非継続事業（ハイライツ・エンタテインメント）を除く数値で表示しております。
- ※2 税引前利益までの数値について、非継続事業（キーノート、Jトラストカード、JT親愛貯蓄銀行、JT貯蓄銀行、キーホルダー（子会社含む））を除く数値で表示しております。
- ※3 税引前利益までの数値について、非継続事業（キーノート、Jトラストカード、JT親愛貯蓄銀行、キーホルダー（子会社含む））を除く数値で表示しております。また、JT貯蓄銀行について、株式譲渡を延期したことにより継続事業としたため、税引前利益までの数値について継続事業への、さらにJTキャピタルについて2021年12月期第3四半期に株式譲渡が完了したことにより非継続事業への遡及修正を反映しております。
- ※4 オルファスの株式交換に係る暫定的な会計処理の確定による遡及修正を反映しております。
- ※5 ROA（年換算）＝親会社の所有者に帰属する当期利益÷資産合計（％）※資産合計（前期末＋当期末）/2
- ※6 ROE（年換算）＝親会社の所有者に帰属する当期利益÷親会社の所有者帰属持分（％）  
※親会社の所有者帰属持分（前期末＋当期末）/2

## 2021年12月期第4四半期（10～12月）

当社グループの主な取り組みについて（一部、提出時点での取り組みを含む）

### (i) 日本での事業展開

(日本保証)

- ・2021年12月に京阪電鉄不動産(株)と新たに不動産担保ローンに対する保証を開始
- ・クラウドファンディングを活用した保証事業が拡大  
⇒クラウドファンディングの取扱高50億円を突破（2021年12月現在）  
＜保証提携先の拡大＞（2021年12月末現在、7社）  
・融資型クラウドファンディング⇒ (株)CAMPFIRE 他3社  
・不動産投資型クラウドファンディング⇒ (株)グローバルス、(株)イーダブルジー、ONE DROP INVESTMENT(株)

### (ii) 海外での事業展開

(Jトラスト)

- ・2021年11月に韓国のJT貯蓄銀行の株式譲渡中止

(Jトラスト銀行インドネシア)

- ・飯田グループホールディングス(株)（飯田GHD）傘下のインドネシア子会社2社と住宅販売に係る業務提携契約を締結  
⇒今後もインドネシア各地に事業を展開している飯田GHD各社との業務提携の順次拡大を目指す

## 2. 2021年12月期 連結決算概要

### 1) 連結業績（累計）の前期比較

※ 2021年12月期第3四半期連結会計期間に連結の範囲から除外したJTキャピタルの業績につきましては、非継続事業に分類したため、2020年12月期の関連する数値について遡及修正しております。また、2020年12月期において、非継続事業に分類しておりましたJT貯蓄銀行の業績につきましては、2021年12月期第1四半期連結会計期間において、当該分類を中止し継続事業に分類しております。そのため、2020年12月期の関連する数値については、遡及修正しております。

(単位:百万円)

	2020年12月期 (1-12月) 累計		2021年12月期 (1-12月) 累計		前期 増減	増減 率 (%)	主な増減要因
	実績	百分比 (%)	実績	百分比 (%)			
営業収益	39,387	100.0	42,325	100.0	2,937	7.5	増: <b>銀行業における貸出金の増加に伴い利息収益が増加</b> 減: <b>東南アジア金融事業において、営業貸付金の減少や、買取債権の回収の減少、及び保有有価証券の売却の影響により利息収益が減少</b>
営業費用	20,787	52.8	23,017	54.4	2,229	10.7	増: <b>韓国及び東南アジアの貯蓄銀行/銀行において、銀行預金残高の増加により銀行業預金利息費用が増加</b> <b>銀行業における貸出金が増加するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による不況を受け貸倒引当金繰入額が増加</b> 減: <b>Jトラスト銀行インドネシアにおいて、前期、保有有価証券の売却に伴い有価証券売却損を計上したことと比べ当期減少</b>
販売費及び一般管理費	20,898	53.1	21,560	50.9	661	3.2	増: <b>JTキャピタル株式売却に係る譲渡所得税の計上</b> <b>Jトラストアジアにおいて訴訟関係費用が増加</b>
その他の収益・費用	-104	-0.3	7,512	17.8	7,617	—	増: <b>シンガポールでの訴訟における勝訴判決の履行金を受領</b> <b>インドネシアでの訴訟の進展を踏まえ訴訟損失引当金を取崩し</b> 減: <b>PT JTRUST OLYMPINDO MULTI FINANCE (JTO) において事業計画等の見直しに伴いのれんの減損損失を計上</b>
営業利益	-2,403	-6.1	5,260	12.4	7,664	—	
金融収益・費用	1,784	4.5	291	0.7	-1,492	-83.7	増: <b>為替相場の変動により為替差益を計上</b> <b>Nexus Bank(株) (Nexus Bank) の普通株式及び新株予約権の譲渡に係る投資有価証券売却益の計上</b> <b>HSホールディングス(株) (旧 澤田ホールディングス(株)、HSHD) の普通株式に係る投資有価証券評価益の計上</b> 減: <b>Nexus Bankの普通株式及びA種優先株式に係る投資有価証券評価損の計上</b>
持分法による投資利益・投資損失	—	—	347	0.8	347	—	増: <b>持分法による投資利益を計上</b>
税引前利益	-619	-1.6	5,899	13.9	6,518	—	
法人所得税費用他	7,765	19.7	2,311	5.5	-5,453	-70.2	増: <b>保有するHSHD株式の評価益に対する繰延税金負債の計上</b> 減: <b>保有するNexus Bank株式の評価損や、売却したJTキャピタルの留保利益に対する繰延税金負債の戻し</b> <b>前期、Jトラストカード(株) (現 Nexus Card(株)) の株式交換に係る繰延税金負債を計上したことと比べ当期減少</b>
継続事業からの当期(四半期)利益	-8,384	-21.3	3,587	8.5	11,972	—	
非継続事業からの当期(四半期)利益	2,369	6.0	-2,646	-6.3	-5,016	—	減: <b>株式交換及び株式譲渡を行ったことにより該当する会社を非継続事業に分類し組み替えて表示</b>
非支配持分	-672	-1.7	-181	-0.4	491	—	
親会社の所有者に帰属する当期(四半期)利益	-5,342	-13.6	1,123	2.7	6,465	—	

## 2) セグメント別営業収益及び営業利益（連結・累計） の前期比較

※2021年12月期第3四半期連結会計期間に連結の範囲から除外したJTキャピタルの業績につきましては、非継続事業に分類したため、2020年12月期の関連する数値について遡及修正しております。また、2020年12月期において、非継続事業に分類しておりましたJT貯蓄銀行の業績につきましては、2021年12月期第1四半期連結会計期間において、当該分類を中止し継続事業に分類しております。そのため、2020年12月期の関連する数値については、遡及修正しております。

(単位:百万円)

		2020年12月期 (1-12月) 累計	2021年12月期 (1-12月) 累計	前期 増減	増減率 (%)	主な増減要因
日本 金融事業	営業収益	10,041	9,781	-259	-2.6	・パルティール債権回収において買取債権の回収が好調で買取債権にかかる利息収益が増加した一方で、日本保証において、アパートローンや個品割賦に対する保証残高の減少により保証料収益が減少
	営業利益	4,860	4,588	-271	-5.6	・パルティール債権回収において、買取債権の将来CFの見直しに伴い貸倒引当金繰入額が増加したこと等により減少
韓国及び モンゴル 金融事業	営業収益	12,390	14,806	2,415	19.5	・貯蓄銀行業における利息収益や、債権売却益、保有する有価証券からの配当収益が増加
	営業利益	2,018	3,208	1,189	58.9	・貯蓄銀行業における貸出金や預金の増加に伴い、貸倒引当金繰入額や銀行業預金利息費用及び保険料が増加した一方で、営業収益が増加したこと等により増加
東南アジ ア金融事 業	営業収益	15,953	16,797	843	5.3	・営業貸付金の減少や、買取債権の回収の減少、及び保有有価証券の減少等に伴い利息収益が減少したことや、前期、保有有価証券の売却に伴う売却益を計上したことと比べ当期の収益が減少した一方で、銀行業における貸出金の増加に伴い利息収益が増加したこと等により増加
	営業利益	-5,541	-6,372	-830	—	・前期、保有有価証券の売却に伴い有価証券売却損を計上したことと比べ当期の費用が減少したことや、現地にて提起されている訴訟の進展を踏まえ、訴訟損失引当金を取り崩したこと等により増加した一方で、銀行業における預金の増加に伴い銀行業預金利息費用が増加したことや、銀行業における貸出金が増加するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による不況を受け貸倒引当金繰入額が増加したことや、JTOにおいて事業計画等の見直しに伴いのれんの減損損失を計上したこと等により減少
投資事業	営業収益	953	642	-310	-32.6	
	営業利益	-1,651	5,445	7,096	—	・訴訟関係費用が増加するも、シンガポールの控訴裁判所において、Jトラストアジアが提起していた訴訟に係る勝訴判決の全額履行を受けたことにより増加
その他の 事業	営業収益	608	878	269	44.3	
	営業利益	-310	430	741	—	
連結	営業収益	39,387	42,325	2,937	7.5	
	営業利益	-2,403	5,260	7,664	—	

### 3. 2022年12月期 連結業績予想

#### セグメント別業績予想

Nexus Bankとの株式交換につきましては、国際財務報告基準(IFRS)第3号 企業結合により、取得法にて会計処理を行う予定です。これにより連結財務諸表上、のれん（又は負ののれん）が発生する見込みですが、発生するのれん（又は負ののれん）の金額については、現段階で確定しておりません。また、Eイチ・エス証券㈱の子会社化につきましては、中長期的に収益貢献が見込まれ、当社グループの連結業績に相應の影響を与えるものと考えておりますが、会計基準の違いから業績予想の見積りに精査が必要となるため、現時点では2022年12月期予想に含めておりません。

(単位:百万円)

2022年2月14日現在		2021年 12月期 実績	2022年 12月期 予想	前期 増減 (%)	翌期の戦略等
日本金融事業	営業収益	9,781	8,612	-12.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・翌期も当期と同じく、保証事業、債権回収事業に注力</li> <li>・保証事業においては、既存の信用保証残高からの安定的な保証料収益を計上。アパートローン保証に代わり、中古アパートローン、不動産担保ローン、クラウドファンディング（融資型/不動産投資型）の保証等、保証商品の多角化を推進</li> <li>・債権回収事業についても順調な推移を見込む</li> </ul>
	営業利益	4,588	3,570	-22.2	
韓国及びモンゴル金融事業	営業収益	14,806	34,999	136.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・翌期も当期と同じく、貯蓄銀行業務と債権回収業務による安定的な利息収益を計上し、「量の成長」から「質の成長」を目指す</li> <li>・Fintechを活用した審査システムの導入や、マーケティング活動やブランド戦略等を含む効果的な営業活動を実施</li> <li>・Nexus Bankの株式交換により、JT親愛貯蓄銀行㈱を取得、更なる安定的な収益計上を見込む</li> </ul>
	営業利益	3,208	6,352	98.0	
東南アジア金融事業	営業収益	16,797	23,953	42.6	<p>インドネシアでは、コロナの影響等による債権の不良化等により厳しい状況が続いているが、銀行業における貸出金残高が順調に伸びており、利息収益も堅調に推移、カンボジアもほぼ計画どおりで推移しており、早期の収益改善を見込む</p> <p>( Jトラスト銀行インドネシア ) 以下の3つを経営課題とし収益改善に取り組む</p> <p>①債権の積み上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a.ローン残高、社債の増加：ビジネス/審査部門と連携、案件毎の緻密な詰めや審査の迅速化も含めた体制の見直し、不良債権リスク低減を図りつつ残高増強を図る</li> <li>b.調達コスト低減：新規口座獲得、小口預金の獲得、高金利定期継続時の引き下げ、COFの引き下げによる調達コストの低減、金利収益改善を目指す</li> <li>c.新勘定系システムの導入</li> </ul> <p>②自己資本の拡充 インドネシア金融庁(OJK)が求める基準厳守（現時点ではクリア）</p> <p>③マーケティング活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a. TikTok等利用した各種キャンペーンによる預金残高の増加</li> <li>b. 飯田GHDの子会社と住宅販売に係る業務提携開始</li> <li>c. SDGsへの取り組み：お客様に役立つ商品提供</li> </ul> <p>( Jトラストインベストメンツインドネシア (JTII) )</p> <p>①回収金の最大化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不動産担保の売却、小口債権に対する給料差押、貸金訴訟申立等法的回収を強化</li> </ul> <p>②他社債権の買取による収益機会の拡大 ( JTO )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支店統廃合、不動産売却等のリストラ策の実施</li> <li>・債権回収の強化</li> </ul> <p>( Jトラストロイヤル銀行/カンボジア )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資金需要は堅調であり、預金残高の増加にあわせて貸出金残高もビジネスバンキング部門を中心に堅調に推移している。翌期もCOFの改善による金利収益拡大を図り、各種マーケティング、キャンペーン等により、利便性の向上、取引手数料の増加を図る</li> </ul>
	営業利益	-6,372	-2,173	-	
投資事業	営業収益	642	288	-55.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・翌期もGroup Lease PCL.に対する債権回収に重点をおき、裁判費用等の回収コストを抑制しつつ、回収強化を図る</li> </ul>
	営業利益	5,445	-1,438	-	
その他の事業	営業収益	878	3,999	355.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本ファンディングにおいて、不動産事業が稼働</li> </ul>
	営業利益	430	58	-86.5	
連結	営業収益	42,325	71,324	68.5	
	営業利益	5,260	4,823	-8.3	